

授業科目	整形外科学 I				
担当者	田中 稔・山本 展生・境 隆弘・佐藤 睦美・中村 憲正 (すべて実務経験者)				(オムニバス)
実務経験者の概要	田中 稔, 境 隆弘, 佐藤 睦美 (理学療法士として, 臨床現場において整形外科疾患の患者に対して, 評価・治療に従事していた.) 山本 展生, 中村 憲正 (医師として, 臨床現場において整形外科疾患の患者に対して, 診察・治療に従事している.)				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

運動機能障害から日常生活動作を障害する原因となる, 整形外科疾患について病因, 病態生理, 診断, 治療法, 予後について学習する. 田中 稔, 山本 展生, 境 隆弘, 佐藤 睦美, 中村 憲正 (実務経験者)

■ 到達目標

まず, 運動器の障害に関する基礎的な理解を深めた上で, 各分野ごと, それぞれの疾患について, 病因, 病態生理, 治療法を理解する.

さらに, その知識を理学療法士としてどのように臨床につなげていくか理解する.

■ 授業計画

- 第1回 整形外科とは 山本 展生 (実務経験者)
- 第2回 整形外科診断総論 山本 展生 (実務経験者)
- 第3回 整形外科治療総論 山本 展生 (実務経験者)
- 第4回 整形外科疾患総論 山本 展生 (実務経験者)
- 第5回 炎症性関節疾患 (関節リウマチとその類縁疾患・慢性関節疾患等) 田中 稔 (実務経験者)
- 第6回 骨端症・骨壊死・骨・軟部腫瘍 田中 稔 (実務経験者)
- 第7回 先天性疾患・骨系統疾患 田中 稔 (実務経験者)
- 第8回 神経・筋疾患, 代謝性疾患 田中 稔 (実務経験者)
- 第9回 肩・肘・手関節と手 田中 稔 (実務経験者)
- 第10回 頸・胸・腰椎 田中 稔 (実務経験者)
- 第11回 股・膝・足関節と足 田中 稔 (実務経験者)
- 第12回 外傷 (骨折) 佐藤 睦美 (実務経験者)
- 第13回 外傷 (捻挫, 脱臼) 佐藤 睦美 (実務経験者)
- 第14回 外傷 (脊椎・脊髄損傷, 末梢神経損傷) 境 隆弘 (実務経験者)
- 第15回 整形外科領域における再生医療について 中村 憲正 (実務経験者)

■ 評価方法

【科目試験 (筆記試験) 80%】 小テスト 20%

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

授業開始時に知識の確認テストを実施する. そのため, 事前に前回授業の復習をしておくこと.

■ 教科書

書 名: 標準整形外科学

著者名: 監修: 内田淳正, 編集: 中村利孝ら

出版社: 医学書院

書 名: 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学

著者名: 立野勝彦

出版社: 医学書院

■ 参考図書

■ 留意事項

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 講義受講にあたって

本講義は1年次の運動器系の解剖学および生理学の知識を踏まえた講義内容となっている。また、本講義内容は運動器障害に関する評価学や治療学を理解するうえで必要となる。